

「平成 28 年度オリンピック・パラリンピック教育推進校」 実施報告書

【学校名】 常陸大宮市立大宮中学校

【実施学年】 第1学年 男子 73 名 女子 95 名

【テーマ】 I II **III** **IV** V

- I 「オリンピック精神」の活用
- II 「おもてなし」や「ボランティア精神」の醸成
- III 障害者スポーツへの関心の向上
- IV 異文化理解・国際教育の促進
- V スポーツを楽しむ心の醸成

【実践研究タイトル】

オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高めるための教育活動

【目的・ねらい】

オリンピック・パラリンピックについて調べたり、競技を体験したりすることにより、オリンピックやパラリンピックへの興味・関心を高めるとともに、生徒が生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための資質や能力を養う。

【種類】 ※当てはまるものに○・複数可

- 各教科（保健体育）
- 道徳
- 外国語活動
- 総合的な学習の時間
- 特別活動
- 教科以外での取組（部活動）

【実施内容等】

1 保健体育科の授業における取組（1学年）

(1) オリンピック・パラリンピック学習についてのオリエンテーション

ア オリンピック・パラリンピックについてのアンケートの実施

(ア) アンケート結果

「オリンピックを知っているか？」

- ①よく知っている42%
- ②少し知っている37%
- ③あまり知らない16%
- ④全く知らない5%

「パラリンピックを知っているか？」

- ①よく知っている18%
- ②少し知っている29%
- ③あまり知らない37%
- ④全く知らない16%

「今年 2016 年に開催されたオリンピックの都市は？」

- ①知っている86%
- ②知らない14%

「2020 年に開催されるオリンピックの都市は？」

- ①知っている92%
- ②知らない8%

「オリンピック・パラリンピックの情報は、何で知りましたか？」

- ・TV
- ・インターネット
- ・雑誌
- ・その他

以上から、オリンピックに比べ、パラリンピックの認知度が低いことが分か

(4) ブラインドサッカー体験

オリンピック・パラリンピックについての競技体験の場を充実させるために1学年保健体育科の授業（球技・ゴール型）において、ブラインドサッカーの体験を行った。



視覚障害者スポーツを体験したことで、障害者の方への理解を深めるとともに、様々な立場の人たちが障害者スポーツに携わっていることや、障害者もスポーツをライフスタイルの一部としていると感じることができた。また、競技をしたことだけでなく、普段の生活における障害者との関わり方や接し方についても感想を述べている生徒が多く、体験を通して様々な事を学ぶことができた。

2 生徒会によるパラオ共和国との交流（1・2学年）

東京オリンピック・パラリンピックにおけるパラオ選手団の事前キャンプ実施で、パラオ共和国と常陸大宮市が合意し、その視察等のため来日したパラオオリンピック委員会の方々を本校に招待した。武道、書道や箏の授業を見学した上で体験を行ったり、体育館において本校生徒との文化交流会を図ったりした。



上記の写真は全体会の様子の一部であるが、生徒会長による歓迎のスピーチに続いて、パラオ共和国の方から映像を上映し、国の歴史や文化などを紹介していただいた。その後、生徒からの質問がすべて英語で行われ、お互いの国の理解を深めることができた。生徒達は、「日本と友好が深い国なので、これからもっとパラオについて調べてみたい、もっと友好が深まればよいと感じた。」「オリンピック選手を間近で見られる機会なので、常陸大宮市にキャンプ地が決定して欲しい。」などの感想を述べていた。交流会を通して、オリンピックのことだけでなく、異文化に対する興味・関心を高めることができた。

3 クロスカントリー大会への参加（各運動部活動）

体力の保持増進や競技力の向上のみならず、オリンピックやパラリンピックの方々とのふれあいを通し、マラソンや将来のオリンピック・パラリンピックへの興味関心を高めることを目的として、常陸大宮市で毎年開催されているクロスカントリー大会への参加を促した。

大会に参加した生徒からは、「上位に入賞してよかった。来年もがんばりたい。」「常陸大宮市駅伝大会に向けて練習をがんばりたい。」「オリンピックの走りを見てきれいなフォームだと思った。とても勉強になった。」など、生徒は大会に参加したことで様々な事を感じることができたようだ。



成果

(1) アンケート結果 ※（ ）内は、事前アンケートとの比較

「オリンピックを知っているか？」

- ①よく知っている49%（△7%） ②少し知っている39%（△2%）
③あまり知らない12%（▼4%） ④全く知らない0%（▼5%）

「パラリンピックを知っているか？」

- ①よく知っている39%（△21%） ②少し知っている47%（△18%）
③あまり知らない16%（▼20%） ④全く知らない0%（▼16%）

「今年2016年に開催されたオリンピックの都市は？」

- ①知っている100%（△14%） ②知らない0%（▼14%）

「2020年に開催されるオリンピックの都市は？」

- ① 知っている100%（△8%） ②知らない0%（▼8%）

(2) オリンピック・パラリンピック教育を終えて

<生徒の感想から>

- ・オリンピックやパラリンピックのことにについてよく分かった。
- ・オリンピックの競技やルールのことを詳しく知ることができた。
- ・視覚障害者マラソンやブラインドサッカーを体験することができてよかった。視覚に障害がなくてもみんなが楽しめるようなものだった。
- ・東京オリンピックには、選手として参加するのは難しいかもしれないけど、ボランティアで参加できれば参加してみたい。

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題点】

- 本事業を受けて実践するまでの準備期間が不十分であった。特にゲストティーチャーやオリンピックなどを招待する場合は、スケジュール調整や金銭面での調整が必要になるため、早い時期での計画が大切である。また、本学習をカリキュラムのどこに位置づけるかなど、学年間の連携や計画をしっかりと立てることが必要である。